

令和元年度（2019年度）  
北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業計画

1 地域活動支援事業

- (1) 実践活動地区（3地区、括弧は年次）  
根室市厚床地区（2）、上ノ国町上ノ国地区（2）、由仁町由仁地区（1）
- (2) 住民意識醸成地区

2 研修事業

- (1) 指導員の委嘱
- (2) 全国研修（9月12～13日東京都）
- (3) 地域づくり研修会（1～2月札幌市）
- (4) 現地研修（道東 7月25日～26日）
- (5) 北海道ふるさと・水と土指導員会（1～2月）
- (6) 北海道ふるさと・水と土指導員会幹事会（5月15日、1～2月）
- (7) 指導員ブロック別ミーティング（4ブロック）
  - ① 道東ブロック 8月～9月 弟子屈町（釧路市）
  - ② 道北ブロック 8月～9月 幌加内町（旭川市）
  - ③ 道央ブロック 8月～9月 札幌市
  - ④ 道南ブロック 8月～9月 函館市
- (8) 情報誌「里づくり」の発行 2回（7月、2月）
- (9) web版「里づくり」の配信 毎月

3 推進事業

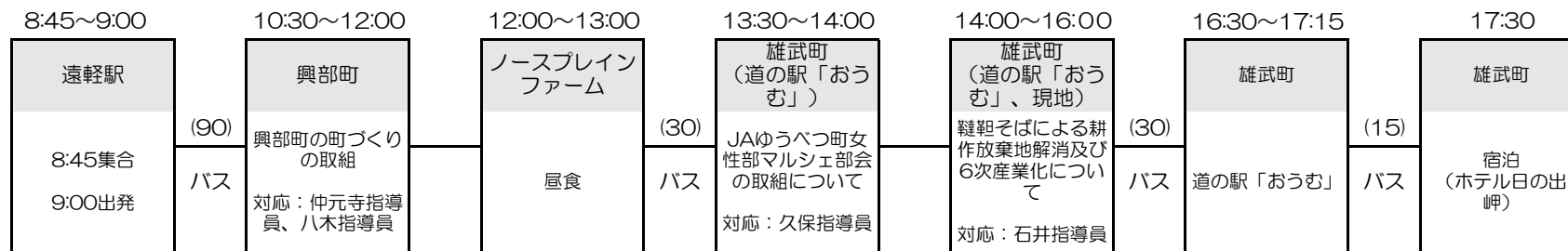
- (1) 委員会の開催 3回（5月、12月、3月）
- (2) 活動地区との意見交換
- (3) ホームページの更新
  - ① 指導員プロフィール
  - ② 事業紹介、委員会記録及び活動実績等の情報
- (4) 啓発普及  
「新・田舎人」（100～103号）の配布



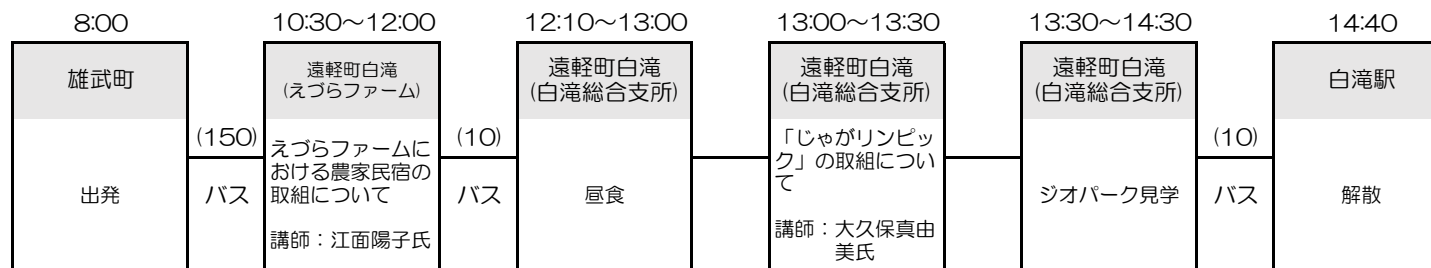
# 令和元年度(2019年度) 現地研修行程

\*バスは全て借上バス

7月25日(木)



7月26日(金)



白滝発15:01 特急大雪4号  
旭川着16:19  
旭川発16:30 特急ライラック34号  
札幌着17:55

## 令和元年度(2019年度)中山間ふるさと・水と土保全対策事業予算

(単位:千円)

区分	R1予算額	R1執行予定額		H30当初	H30実績	
1	地域支援活動 事業費	5,035	別海地区	—	306	236
			七飯地区	—	1,631	455
			北村豊正地区	—	1,246	463
			厚床地区	2,180	1,015	620
			上ノ国地区	245	453	227
			由仁地区	635	—	217
			新規採択地区	1,975	284	—
小計			5,035	4,935	2,218	
2	研修事業費	7,519	地域づくり研修会	1,703	1,800	1,552
			現地研修	1,917	1,414	1,075
			指導員会	1,199	1,200	202
			情報誌等	342	250	124
			全国研修会	480	600	311
			ブロック別ミーティング	1,878	2,152	1,230
小計			7,519	7,416	4,494	
3	推進事業費	1,438	委員会	472	475	162
			現地調査等	716	670	506
			啓発活動等	250	300	558
小計			1,438	1,445	1,226	
合計	13,992		13,992	13,796	7,938	

## 地域活動支援事業

令和元年度（2019年度）事業計画

別記様式第4号  
活動計画

団体名		厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム				市町村名	根室市			地区名	厚床		
めざす姿		地域資源を活かし、農商工連携を促進しながら、都市と地域の交流拠点づくりに取り組み、地域の活性化を図る											
活動の方向	No.	活動の内容			目標(数値・定性)			解決すべき課題					
	①	◇厚床地域ビジョン作成に関する取組み ・地域間及び世代間交流人口の増加 ・地域資源(魅力)の確認			・地域ビジョン作成 ・防災キャンプ開催 ・あつとこ農園開設 ・自然学習会開催 ・フットパス整備 ・交流会開催 ・視察研修 ・地域マップ作成 ・PR動画制作 ・ワークショップ開催			・地域への活動内容の周知及び理解を得る ・農繁期の活動体制 ・関係機関との連携強化 ・役割分担の確率					
	②	◇活動内容の地域への周知及び理解の促進			・SNS等を活用した情報発信 ・ワークショップ開催			・役割分担の確率					
3年間の活動プロセス	活動事項	関連No.	平成30年度			令和元年度			令和2年度			最終目標	適用事業
			内容	予算額(千円)	年度目標	内容	予算額(千円)	年度目標	内容	予算額(千円)	年度目標		
	厚床地域ビジョン作成に関する取組み	①							地域ビジョン作成	2,000			中山間ふるさと・水と土保全対策事業
		①	防災キャンプ	174	1回	防災キャンプ	920	1回	防災キャンプ	920	1回		
		①				あつとこ農園	400		あつとこ農園	100			
		①							自然学習会(巣箱作り、バードウォッチング)	50	2回		
		①	フットパスコース整備	41		フットパスコース整備	210		フットパス看板設置	200			
		①	交流会(パークゴルフ)	0	1回				交流会(パークゴルフ、百人一首、食事会など)	10	2回		
		①				視察研修	260		視察研修	260			
		①							地域マップ作成	200	1千部		
①								PR動画制作	1,000				
	①②	ワークショップ	405	4回	ワークショップ	390	4	ワークショップ	400	4回			
		②	SNS等での情報発信	-	随時	SNS等での情報発信	-	随時	SNS等での情報発信	-	随時		
		専修大学			教授 泉 留維 (フットパス)								
		北海道教育大学釧路校			准教授 宮前 耕史 (通楽合宿)								

## 地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	令和元年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	厚床	活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
地域ビジョン作成に向けた地域住民の意識醸成	報償費	ワークショップ	160,000	◆報償費
	旅費			10,000円*4hr*4回
			230,000	◆旅費(札幌～根室)
				航空機,日帰り*4回
		小計	390,000	
地域ビジョン作成に向けた地域拠点の再確認  地域間及び世代間交流	旅費	防災キャンプ	410,000	◆旅費(札幌～根室)
	旅費			航空機,2泊3日*5人
			310,000	◆旅費(釧路～根室)
	需用費			列車,2泊3日*10人
			100,000	◆需用費
				食材、資材など
	使用料及び賃借料		100,000	◆使用料
		バス		
		小計	920,000	
コース整備を通じて、地域資源の再認識及び地域間交流	需用費	フットパスコース整備	110,000	◆需用費
	使用料及び賃借料			草刈機燃料代 10,000円
				看板設置 100,000円
			100,000	◆使用料
			レンタカー	
		小計	210,000	
地域間及び世代間交流	需用費	あっとこ農園	400,000	◆需用費
				資材など
		小計	400,000	
地域づくり活動の事例視察	報償費	視察研修	160,000	◆報償費
	使用料及び賃借料			14,000円*4hr
			100,000	◆使用料
				バス
		小計	260,000	
合計			2,180,000	
			320,000	報償費
			950,000	旅費
			610,000	需用費
			0	役務費
			0	委託料
			300,000	使用料及び賃借料
費目内訳			2,180,000	

別記様式第4号

活動計画

団体名	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班	市町村名	上ノ国町	地区名	上ノ国
めざす姿	・「絹さやえんどう」を活用して、上ノ国町の「食」の魅力を地域内外に発信し、また地産地消を促進することで地域内経済を活発にして地域振興、産地の維持を図る。				
活動の方向	No	活動の内容	目標(数値・定性)	解決すべき課題	
	①	町民の「絹さやえんどう」に対する関心を高める	・食育イベントの開催(年1回) ・「絹さやえんどう」に関する情報の発信(随時)	・活動に必要な絹さやえんどうの確保。 ・絹さやえんどう消費の行事化。 ・町民の「絹さやえんどう」に対する十分な理解。	
	②	地元料理店と連携し「絹さやえんどう料理」を開発、定着を図る	・「絹さやえんどう料理」の開発 ・「絹さやえんどう料理」の定番メニュー化	・試作、定番メニュー化に必要な絹さやえんどうの確保。 ・地元料理店との「絹さやえんどう料理」の開発、郷土料理化。 ・「絹さやえんどう料理」を町民に対し提供する時期の検討。	
	③	活動体制を強化する	・活動報告会の開催(年1回)	・生産者に対し「絹さやえんどう」による地域食文化の充実、地産地消による地域循環経済についての理解。	
	④	「絹さやえんどう」地域内流通体制を構築する	・「絹さやえんどう」の販売場所の確保	・地区内販売用「絹さやえんどう」の確保、集荷体制。 ・販売場所の検討。 ・販売単価の設定。	



3	活動事項	関連No	平成30年度			平成31年度			平成32年度			最終目標	適用事業	
			内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標			
年間 の 活 動 プ ロ セ ス	町民向けの食育活動	①	上ノ国サヤエンドウ料理教室の開催	千円 62.71	1回/年 (2月)	上ノ国サヤエンドウ料理教室の開催	千円 34.71	1回/年 (2月)	上ノ国サヤエンドウ料理教室の開催	千円 100	1回/年 (2月)	町民が「上ノ国＝絹さやえんどう産地」であることの理解	中山間ふるさと・水と土保全対策事業(地域活動支援事業)	
			上ノ国産サヤエンドウのPR	2.418	2回/年	上ノ国産サヤエンドウのPR	90	1回/年 (11月)						
						地元学校とのさやえんどう料理検討会	60	1回/年 (12月)						
	「サヤエンドウ料理」の開発、定着	②	「絹さやえんどう料理」の開発	0	2回/年 (10月)	「絹さやえんどう料理」の開発	60	3回/年 (8-9月)	「絹さやえんどう料理」週間開催	100	1回/年 (8-9月)	「絹さやえんどう料理」の郷土料理化		
			さやえんどうスイーツの開発	0	2回/年									
			上ノ国サヤエンドウ料理検討会の開催	235.08	1回/年 (3月)									
	活動体制の強化	③										持続性のある活動体制の確立		
	「絹さやえんどう」地域内販売体制の構築	④							「絹さやえんどう」地域内販売の試行	100	1回/年 (8-9月)	「絹さやえんどう」販売体制の確立		
	関係者等	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班						代表 大口 勇 連絡先						
		上ノ国町						農林課農業林業グループ 主査 石山 雄大 連絡先 0139-55-2311						
JA新函館厚沢部基幹支店						生産施設課調査役 出口 秀樹								
檜山農業改良普及センター						広域主査(高付加価値化) 深尾 伸一 (作物(稲))								

## 地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成31年度			
総合振興局等名	檜山振興局			
活動地区名	上ノ国	活動団体名	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班	
目的(ねらい)	項目(費目)	内 容	金 額	積 算 根 拠
町民向けの食育活動	需用費	上ノ国産サヤエンドウのPR	90,000	消耗品費・食材費 (H31.3.19美里分参考 150人を想定して)
	需用費		30,000	消耗品費・食材費 (H31.3.19美里分参考 )
	使用料及び賃借料	上ノ国サヤエンドウ料理教室の開催	4,710	1,570円×3h ジョイ・じょぐら(は まる3、調理室)
	需用費	地元学校とのさやえん どう料理検討会	60,000	消耗品費・食材費 (H31.3.19美里分参考 8班につき2品)
		小 計	184,710	
「絹さやえんどう料理」の開発	需用費	料理人との連携し、さ やえんどう料理の開発	60,000	1人当材料費2000円 (参考ちやお9品分) ×10名×3回
		小 計	60,000	
合 計				
費 目 計		08_報償費	0	
		09_旅費	0	
		11_需用費	240,000	
		12_役務費	0	
		13_委託料	0	
		14_使用料及び賃借料	4,710	
			244,710	

別記様式第4号

活動計画

団体名	WEAVE		市町村名	由仁町		地区名	由仁地区						
めざす姿	<p>由仁町は、札幌圏に比較的近いという立地条件も影響し、過疎化・高齢化が進行し、農村地域としてのコミュニティの脆弱化が深刻で、地域の活力が低下している。このような中、町内には町外から嫁に来た女性が多く、この女性たちの間から、「町内に知人が少ないため、農家の友人を作り情報交換したい。」「地域や農業のことが分からず不安なので、もっと知りたい。」などの要望が上がり、普及センターが仲介役となって若手女性の会『WEAVE』（編む、織るという意味）が平成25年3月に設立された。会の目的としては、地域・農業への理解を深め、仲間づくりを行うことで、地域の活性化に貢献することである。農村地域にとって、女性たちの存在は活性化のキーになる。今後、この『WEAVE』の活動を促進することにより、高齢者などが蓄積している食に関する伝統技術を継承し、イベントなどを通じて町内外の活発な交流を進めることで、『WEAVE』のメンバーを含め多くの人たちが地域の魅力を再発見し、コミュニティが元気になる、生き活きと農村生活を送ることができるようになる。また、乾燥野菜の販売などを通じて、『WEAVE』の持続化を図り、メンバーの生きがいの創造を進め、このような仲間の拡大を促進することで、由仁町全体の魅力と地域力の向上を図るものである。</p>												
活動の方向	NO	活動の内容		目標(数値・定性)		解決すべき課題							
	①	<p>学習・グループ活動事業 町外から嫁に来た女性が、地域の魅力を認識し、地域に溶け込むための活動を行うとともに、地域の食の伝統の継承を目指す。また、地域の魅力を発信していく。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新規会員の確保 1人/年</li> <li>農産物加工実習の実施 1回/年</li> <li>SNSを利用した由仁町農業・農村の魅力発信 10回/年</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新規会員の確保</li> <li>地域の伝統的な農産物加工技術の習得</li> <li>地域の魅力発信のための情報伝達技術の習得</li> </ul>							
	②	<p>乾燥野菜加工販売事業 乾燥野菜の加工及び試験販売を行う。製造工程の整備、効率化及び衛生管理を向上する。また、販売拡大のため、レシピの開発および商品の改良、販売PR方法の改善を行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>乾燥野菜製造販売の取組 150袋/年</li> <li>製造マニュアルの作成 完成品1</li> <li>衛生管理研修の実施 1回/年</li> <li>製造工程の整備・効率化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な栽培・加工による商品の生産</li> <li>製造工程の効率化および衛生管理の向上</li> <li>商品の改良</li> <li>レシピの開発、販売PR用パンフレットの作成</li> </ul>							
	③	<p>交流事業 野菜販売を通して消費者交流をすすめる。 魅力あふれる地域づくりにつながるようなイベントとして「クリスマスイベント」を開催する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜直売の実施 4回/年</li> <li>クリスマスイベント来場者数 100人/回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>会員の積極的な参加と計画的な栽培による品揃えの確保による野菜販売の拡充</li> <li>野菜の特徴や調理に関する知識の向上</li> <li>イベントの効果的なPRと開催内容の充実</li> </ul>							
3年間の活動プロセス	活動事項	関連NO	平成31年度		令和2年度			令和3年度			最終目標	適用事業	
			内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標		
	学習・グループ活動事業	①②	先進地へのバス視察研修	170	1回/年開催	先進地へのバス視察研修	170	1回/年開催	先進地へのバス視察研修	170	1回/年開催	活動の活性化と知識・スキルの習得、農産物加工技術習得	
		①②	農産物加工実習	30	1回/年開催	農産物加工実習	30	1回/年開催	農産物加工実習	30	1回/年開催		
	乾燥野菜加工販売事業	②	製造にかかる資材費	85	150袋/年製造	製造にかかる資材費	85	150袋/年製造	製造にかかる資材費	85	150袋/年製造	地域特産品として生産体制を整え本格販売を開始する	
		②	販売促進にかかる資材費	90	名刺・ショップカード800枚エプロン20枚	販売促進にかかる資材費	50	パッケージ・シール各300枚	販売促進にかかる資材費	90	パッケージ・シール各500枚		
		②③	販売促進にかかる出店料・運搬料	60	クラシェ2回	販売促進にかかる出店料・運搬料	60	クラシェ2回	販売促進にかかる出店料・運搬料	60	クラシェ2回		
		②	レシピ開発・作成	30	レシピ集300部	レシピ開発・作成	50	レシピ集500部	レシピ開発・作成	50	レシピ集500部		
交流事業	②③	クリスマスイベントPRポスター・パンフレット作成	30	ポスター40部 チラシ200部	クリスマスイベントPRポスター・パンフレット作成	30	ポスター40部 チラシ200部	クリスマスイベントPRポスター・パンフレット作成	30	ポスター40部 チラシ200部	地域のイベントとして定着させ、消費者交流の場とする		
関係者等	由仁町産業振興課農政担当				主査	関澤 和之（連絡先 0123-83-2114）							

## 地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成31年度			
総合振興局等名	空知総合振興局空知農業改良普及センター空知南東部支所			
活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE	
目的(ねらい)	項目(費目)	内容	金額(円)	積算根拠
①学習・グループ活動事業 町外から嫁に来た女性が、地域の魅力を認識し、地域に溶け込むための活動を行うとともに、地域の食の伝統の継承を目指す。	直売・加工・交流に係る勉強会 (使用料及び貸借料) (報償費)	先進的な直売・加工・消費者交流事例の視察及び現地での意見交換を通じて指導・助言を得る。	170,000	バス借り上げ料 講師謝礼
	農産物加工実習 (報償費) (需用費)	実習を通して、豆腐、味噌、漬け物等の地域に根付いた農産物加工技術を身につける。	30,000	講師謝礼 材料費
②乾燥野菜加工販売事業 生産した野菜の有効活用と由仁町の特産品として開発した乾燥野菜の試験販売に取り組むとともに、商品の改善や販売促進のための取り組みを行う。	乾燥野菜製造にかかる資材費 (需用費)	乾燥野菜の製造にかかる資材を購入する。	85,000	フードドライヤー 食品用ジッパーバック キッチンペーパー 等
	販売促進にかかる資材費 (需用費)	野菜直売、乾燥野菜販売時に使用するエプロンの作成および配布するショップカードおよび名刺を印刷する	90,000	名刺・ショップカード印刷 エプロン
	販売促進にかかる出店料及び運搬 (使用料及び貸借料) (役務費)	直売イベントに参加し、乾燥野菜の販売および由仁町のPRと消費者交流を行う。	60,000	クラシェ(札幌市チカホ)出店 運搬料一式
	レシピ印刷作成 (需用費)	乾燥野菜を使ったレシピを開発し、配布する。	30,000	レシピ集・パンフレット印刷
③交流事業 町内外から多くの人に訪れてもらい、消費者との交流や魅力ある地域づくりにつながるイベントとしてクリスマスイベントを開催する。	クリスマスイベントPRポスター・チラシ (需用費)	クリスマスイベントのPRポスターとパンフレットを作成し、周知を図る。	30,000	ポスター パンフレット
	クリスマスイベント装飾費 (需用費)	会場の装飾やイベント運営に使用する看板等を作成する	35,000	色画用紙 等

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書（普及センター経費）

事業実施年度	平成31年度			
総合振興局等名	空知総合振興局空知農業改良普及センター空知南東部支所			
活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE	
目的(ねらい)	項目(費目)	内容	金額	積算根拠
WEAVE活動支援	資料印刷 (需用費)	活動支援のための資料を印刷する。	30,000	トナー代等
	巡回活動支援 (需用費)	WEAVE会員の栽培指導、活動準備支援、打合せ等の巡回を行う。	65,000	ガソリン代等
	販売促進支援及び直売・加工・交流に係る勉強会支援 (旅費)	札幌での直売活動を支援する。先進地視察に同行し、研	10,000	札幌往復×3回
合計			635,000	
費目内訳			30,000	報償費
			10,000	旅費
			385,000	需用費
			36,000	役務費
			0	委託料
			174,000	使用料